

国際コーチング連盟日本支部 (ICF Japan)

運営委員募集要項

2022年版

2022年1月20日



一般社団法人国際コーチング連盟日本支部

目次

1. 運営委員の目的
2. ボランティアスタッフ行動指針
3. 運営委員のミッションステートメント
4. 運営業務を行うために運営委員に必要なスキル
5. 運営委員としての資格要件・欠落事項
6. 運営委員の公表と機密保持
7. 任命・活動期間
9. 具体的な活動
10. 運営委員としての活動の御礼
11. 応募・選考方法とスケジュール

(別紙) 2021 年度 国際コーチング連盟日本支部 組織図

(別紙) 活動方針: 5つの改革推進機能+統括 2 機能

1. 運営委員の目的 運営委員は国際コーチング連盟日本支部のミッションとビジョン、プランに基づき、目的を達成するための活動を自ら支えます。その活動の中には補助としてサポートして下さる人のケアも含まれます。より多くの人や組織を巻き込み、国際コーチング連盟の理念が浸透し、コーチングが人類の発展繁栄に寄与するための活動を行います。

2. ボランティアスタッフ行動指針

(1) 感謝の心

ICF ジャパンは金銭的、物質的な報酬を一切受け取らない善意のボランティアにより運営されています。運営に携わる全てのボランティアスタッフは日常の仕事や生活の中から大切な時間を捻出し活動に参加しています。お互いの貢献に敬意を表し、感謝の気持ちで接しましょう。

また、この ICF ジャパンの活動資金は、会員からの会費及び、善意の寄付により成り立っていることを理解し、感謝の気持ちを持って大切に活用しましょう。

(2) 公益性の追求

ICF ジャパン単体でのメリットや利益を考えた活動ではなく、業界全体が広くメリットを感じることが出来る活動を優先して行い、参加していただける方を一人でも増やす努力をします。

また働くボランティアスタッフの中で業務量が増え、一人でこなせなくなったときは早めにそのことを周知し、支援を求め、全員参加型の団体運営をしましょう。

(3) 多様性の容認

ICF ジャパンは出身コーチングスクール、出身国、専門分野などを問わず、広くコーチとコーチングに興味のある個人、団体を受け入れる団体でありたいと願っています。ボランティアスタッフはそれぞれの出身スクールや専門分野において利己的に活動することを慎み、全員のことを考えた活動を行い、業界全体の発展のために活動します。

(4) コーチとしてのコミュニケーション

ICF ジャパンのボランティアスタッフは、ICF コア・コンピテンシーと倫理規定を守り、コーチであることを意識した会話を行いましょう。ICF ジャパンのボランティアスタッフは笑顔と笑いに溢れる、前向きな気持ちでのオープンなコミュニケーションをし、人を傷つける言葉、行動を控え、思いやりを持った会話をしましょう。ボランティアスタッフ同士の笑顔と笑いに溢れるコミュニケーションは、スタッフ同士の士気を高め続けるだけではなく、会員、顧問に対し ICF ジャパンの風土の魅力を強く印象づけ、参加意識や帰属意識を高めます。

(5) 公平性

ICF ジャパンの運営に関わる全てのボランティアスタッフは、尊敬を持って友情に結ばれた公平で居心地の良いメンバーシップを維持することに務めましょう。それは、一人一人が自由に発言できる場を創り、新しいアイデア、新しい意見、新しい発見を尊重し、場に対するそれぞれの貢献によって成り立ちます。

(6) 新しいチャレンジ

新しいアイデアで業界を活性化させることに真剣に関わり、これまでの日本のコーチングの習慣にも囚われることなく、前例のない活動をも勇気を持って推進します。また、ボランティアスタッフの新しい提案をお互いに祝福し、応援し、協力し合うことを誓います。

3. 運営委員のミッションステートメント

運営委員は、以下のミッションステートメントを遵守することが求められます。

私たちは、国際コーチング連盟が定める核となる能力水準(コア・コンピテンシー)及び国際コーチング連盟によるプロコーチの倫理規定の理想に沿った規範に基づき、判断と行動を致します。

*求められる行動指針につきましては、「ボランティアスタッフ行動指針」をご参照ください。

4. 役割を遂行するために運営委員に求められる資質

運営委員は、その役割を遂行するために、以下の資質が求められます。

(1) 倫理性

- ① 個人的動機ではなく社会貢献動機にもとづいていること
- ② 機密保持などの基本的な倫理を守ること
- ③ 特定組織の利益を優先しないこと

(2) 対人態度

- ① 他者に対する肯定的態度
- ② 建設的に良い物をつくっていこうとする学習的態度
- ③ 他者に学習意欲を促す態度
- ④ 自己の意見に固執しない態度
- ⑤ 自由で真摯な場を形成する態度

5. 運営業務を行うために運営委員に必要なスキル

(1) 専門能力

- ① コーチングについての基礎知識
- ② コーチングの進め方についてのプロセス認識
- ③ ICF のコア・コンピテンシー、倫理規定、ICF のミッションについての理解
- ④ 様々なコーチング手法への関心と理解、好奇心
- ⑤ ICF の資格認定、団体認定の最新プロセスに関する知識

(2) 対話能力

- ① 仮説や見解の明確な表現
- ② 他者の仮説や視点についての傾聴力とその態度
- ③ 仮説や見解の交換、融合、転換についての柔軟性
- ④ 意図や背景を理解、明確化するための質問、インタビュー能力

(3) 論理構成力

- ① 仮説や見解、意図の簡潔で平易な表現
- ② 全体と部分との論理的整合
- ③ 全体最適を考えた思考プロセスの整理と再構築

6. 運営委員としての資格要件・欠落事項

(1) 資格要件

運営委員は、責任と役割に応じて以下のすべての要件を満たす必要があります。

<運営委員>

1. 国際コーチング連盟 (ICF) メンバーである
2. 国際コーチング連盟日本支部メンバーである
3. 運営委員倫理規定・機密原則に同意している
4. 国際コーチング連盟日本支部、あるいは各グループのミーティングの日程を最優先で確保できる
5. Eメール、Slack でのコミュニケーションを充分に取れるとともに、電子データの取り扱いに関するリテラシーを充分に有している
6. ボランティアスタッフに求められる行動指針を理解し、遵守することを承認している
7. 運営委員に求められる資質、必要なスキルを満たしていると判断される

7. 運営委員の公表と機密保持

運営委員の氏名は、運営委員任命後に運営委員であることを国際コーチング連盟日本支部のホームページ上で公開します。なお、運営委員としての活動で得た情報で他組織への指導・コーチング・コンサルタント業務を行うことは禁止します。運営委員としての肩書の使用は ICF ジャパンの活動に限定します。

8. 任命・活動期間

運営委員としての任命・活動期間は 2022年3月1日～2023年2月末日までとします。

9. 具体的な活動

別紙、活動方針：5つの改革推進機能+統括 2 機能に基づき、何れかのチームに所属し、担当理事の管轄の下、運営活動を御願っています。

10. 運営委員としての活動の御礼

国際コーチング連盟日本支部の運営委員の活動は、業界の発展を支えるためのボランティア活動であり、会員はその活動のための資金を会費として納入しています。運営委員の活動は高い能力とともに、人格面での高い倫理性と。個人的利益よりも使命遂行を優先するというボランティア精神の上に成り立っています。従って、その活動自体への御礼はありません。ただし、活動に必要な特別な支出につきましては、担当理事の承認の上で実費をお支払いいたします。

11. 応募・選考方法とスケジュール

(1) 応募・選考方法

まず、運営委員応募前に資格要件に該当しているか確認してください。

運営委員の応募は 2022年1月20日より開始します。応募者は国際コーチング連盟日本支部のホームページまたは理事を通して応募の意思を伝えます。その後、2022年2月に理事会で検討の上、選考結果を通知します。

(2) スケジュール予定(2022年)

運営委員の応募 2022年1月20日より開始

運営委員選考 2022年2月

倫理規定・機密保持 遵守誓約書記入 2022年2~3月

運営委員キックオフイベント 2022年3月

(別紙) 2021 年度 国際コーチング連盟日本支部 組織図

1. 体制

代表理事	紫藤由美子
副代表理事	稲葉直彦
副代表理事	田中智子
理事	荒木まさえ
理事	畑さち子
理事	藤井宏美
理事	藤原只敏

2. 各理事の役割

紫藤由美子	代表理事	(組織統括担当) L: Chapter Leader/President
稲葉直彦	副代表理事	(運営体制改革／改革統括担当) T: Treasurer
田中智子	副代表理事	(本部との連携強化担当) ICF L: ICF Liaison
荒木まさえ	理事	(会員価値向上担当) PG: Programs Director
畑さち子	理事	(会員価値向上担当) PG: Programs Director
藤井宏美	理事	(社会的認知拡大担当) PR: Public Relations
藤原只敏	理事	(会員・資格認定者拡大担当) M: Chapter Membership Director

<別紙>

活動方針:5つの改革推進機能+統括 2 機能

★ リーダー ☆ サブリーダー

機能	チャプター リーダー	主なプロジェクトテーマ (案)	既存プロジェクト例	担当理事
コーチングの 社会的認知向上	渉外	1. 各種外部機関との連携を企画・推進 2. 広報活動の企画・推進	プロボノコーチング	藤井★ 畑☆ 紫藤☆ 藤原
会員・資格認定者 の拡大	会員管理	3. 会員拡大策の企画・推進 4. 資格認定者拡大策の企画・推進	アセッサー国内化	藤原★ 藤井☆ 荒木
会員価値の向上	特別イベント プログラム	5. 会員に魅力的なイベントの企画及び開催 6. 会員に魅力的なネットワーク作りの場の企画・ 提供	コーチングプラクティス コーチングコンバージ Code&CC研究会	荒木★ 畑☆
本部との連携強化	コミュニケーション 副理事長	7. 本部との各種情報共有及び交渉 8. グローバルでのICF Japanのプレゼンス向上	本部会議参加 (Forum3)	田中★ 荒木☆
運営体制の改革	財務 秘書	9. 事務局機能の再構築を企画・推進 10. 会員制度一本化の検討	拡大企画会議 (事務局再構築検 討)	稲葉★ 藤原☆ 紫藤 田中 藤井
改革統括	副理事長	11.改革の実現に向け、プロジェクトの連携を企画・ 推進	定例会議の企画・運営 価格戦略の統合	-
組織統括	代表理事	12.理事全員で戦略検討会にて検討した“代表理 事の役割”を踏まえ、役割を企画・推進	アドバイザーボード	-